

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 一級河川 江の川水系 下領家右下谷測量設計地質調査業務委託（通常砂防・公共）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 掘削・掘削のり面

ボーリング名	B-1-2		調査位置	広島県庄原市総領町下領家地内			北緯	34° 47' 6.1340"	
発注機関	広島県北部建設事務所庄原支所			調査期間	2019年 12月 5日 ~ 2019年 12月 7日		東経	133° 04' 13.8906"	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者		
孔口標高	T.P. 282.19m	角	180° 上下 0°	方位	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90° 25°	使用機種	試験機 YBM YBM-05D
総削孔長	8.00m	度	0°	度	0°	度	度	エンジン	ヤンマー NFD-7
							ポンプ	安田工業 TAP-120	

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験						試験採取	室原位置試験	削孔月日				
												深度-N値図									深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量
1	281.69	0.50	砂礫	砂礫	暗褐色				新生代第四紀	表土または旧耕作土に相当。礫分はφ30mm以下主体。マトリクスはシルト質の細砂。 崖堆積物に相当。ほほ全量が礫分から構成される。玉石分はコア長さ17cmで採取される。他の礫分はφ30mm程度以下が多い。マトリクスは粘土質の砂からなり、砂分は細粒に偏る。貫入試験は透水し、掘削水が浸透している可能性が高い。	12/09 5.10	0	1.15	3	2	8	300							12/5
2			玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫	淡褐色	rd2			新生代第四紀			1	1.45	2	3	7	300							
3			砂礫	砂礫	淡褐色				新生代第四紀			2	2.45	2	2	7	300							
4	278.09	4.10	風化安山岩	風化安山岩	淡青灰				中生代白亜紀	5~10cmの短柱状コア主体。5mまでは新鮮で硬いが、以深、やや軟化して風化色を伴う。【Cl級岩盤に相当する】		3	3.10	2	2	6	300							
5	276.89	5.30	安山岩	安山岩	淡青灰				中生代白亜紀	クサビ形状の短柱~柱状コアを呈す。岩片は新鮮で硬い。割れ目に沿って、やや顕著な砕片化を伴う。【Cl級岩盤に相当する】		4	3.45	2	2	6	300							
6	275.59	6.60	風化安山岩	風化安山岩	淡褐色				中生代白亜紀	ごく短柱~岩片状コア主体。潜在的なクラックが多く、コアを濡らした際の乾きは遅い。【Cl級岩盤に相当する】		5	4.10	2	2	6	300							
7	274.84	7.35	安山岩	安山岩	淡青灰				中生代白亜紀	概ね10cm内外の短柱状コアからなる。岩片は新鮮で硬い。割れ目に沿って、弱く砕片化することが多い。【Cl級岩盤に相当する】		6	5.00	貫入不能	50	0								
8	274.19	8.00	安山岩	安山岩	淡青灰				中生代白亜紀			7	6.00	貫入不能	50	0								
9												8	8.00	貫入不能	50	0								